

平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月14日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 トスネット
 コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月17日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 佐藤 康廣
 (氏名) 高橋 奉昭

TEL 022-299-5761

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	3,977	6.6	198	35.3	211	44.3	98	688.1
21年9月期第2四半期	3,732	—	146	—	146	—	12	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	23.38	—
21年9月期第2四半期	2.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	4,312	1,959	45.4	463.00
21年9月期	3,946	1,890	47.9	446.69

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 1,959百万円 21年9月期 1,890百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	—	—	7.50	7.50
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	1.3	170	13.3	190	20.3	60	—	14.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 株式会社仙台メール)

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第2四半期 4,232,600株 21年9月期 4,232,600株

② 期末自己株式数 22年9月期第2四半期 1,197株 21年9月期 1,197株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第2四半期 4,231,403株 21年9月期第2四半期 4,231,403株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱による景気の後退に一部回復の兆しが見られるものの、設備投資や雇用情勢については改善が見られないことなどから、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続く中で推移しました。

警備業界におきましては、警備サービスに対する底堅いニーズはあるものの、同業他社との受注競争の激化や警備品質確保のためのコスト要因等を抱え、収益面では引き続き厳しい状況の中で推移しました。

このような状況の中、当社グループは引き続き施設警備、列車見張り警備の拡販及びロードスタッフの受注拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,977百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益は198百万円(前年同四半期比35.3%増)、経常利益は211百万円(前年同四半期比44.3%増)、四半期純利益は98百万円(前年同四半期比688.1%増)となりました。

(部門別売上高の状況)

(交通警備)

厳しい受注獲得競争の中、当社グループの特色を生かしたロードスタッフ、イベント警備、駐車場警備へ積極的に取り組み、トスネット及び連結子会社の株式会社三洋警備保障の受注が堅調に推移しました結果、当部門の売上高は2,439百万円(前年同四半期比7.6%増)となりました。

(施設警備)

首都圏を中心に積極的に拡大を図っている部門であり、当部門の売上高は前年同四半期とほぼ横這いの1,036百万円(前年同四半期比0.9%減)となりました。

(列車見張り警備)

比較的利益率が高いことから注力商品の一つと位置付けている部門であり、トスネット及び連結子会社の株式会社大盛警備保障の受注が堅調に推移しました結果、当部門の売上高は391百万円(前年同四半期比19.5%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して366百万円増加し、4,312百万円となりました。この主な要因は、のれんの増加248百万円等であります。

負債は主に長期借入金の増加190百万円により、前連結会計年度末と比較して297百万円増加し、2,353百万円となりました。純資産は、利益剰余金67百万円等の増加により、前連結会計年度末と比較して69百万円増加し、1,959百万円となりました。

この結果、自己資本比率は45.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して139百万円増加し、1,059百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、236百万円（前年同四半期は226百万円の収入）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が206百万円になったほか、減価償却費20百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は245百万円（前年同四半期は9百万円の支出）となりました。この主な要因は、子会社株式の取得による支出280百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は148百万円（前年同四半期は104百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入金による収入300百万円があったものの、長期借入金の返済による支出120百万円があったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の通期業績予想につきましては、「平成22年9月期第1四半期決算短信」（平成22年2月12日付）において公表いたしました数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

平成22年3月8日付で、「株式会社仙台メール」の株式を取得し、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、当該子会社に関する詳細は、平成22年2月24日に公表しました「株式会社仙台メールの株式取得(子会社化)に関するお知らせ」をご参照下さい。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用及び引当金の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,059,766	970,595
受取手形及び売掛金	39,422	16,720
警備未収入金	892,659	906,874
原材料及び貯蔵品	18,954	17,951
繰延税金資産	23,093	15,624
その他	50,755	51,796
貸倒引当金	△7,090	△7,757
流動資産合計	2,077,561	1,971,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	347,186	356,425
土地	981,411	981,411
その他(純額)	71,921	66,456
有形固定資産合計	1,400,519	1,404,293
無形固定資産		
のれん	285,808	37,232
その他	39,312	25,105
無形固定資産合計	325,121	62,338
投資その他の資産		
投資有価証券	298,383	305,710
投資土地	72,085	72,085
投資建物(純額)	8,576	9,064
会員権	3,504	3,504
繰延税金資産	70,486	70,036
その他	80,561	70,819
貸倒引当金	△23,822	△23,057
投資その他の資産合計	509,776	508,163
固定資産合計	2,235,417	1,974,795
資産合計	4,312,978	3,946,599

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	156,437	167,579
未払法人税等	131,480	58,440
未払消費税等	71,905	58,106
未払費用	519,966	516,119
賞与引当金	25,350	23,710
その他	115,189	110,463
流動負債合計	1,340,329	1,254,419
固定負債		
長期借入金	829,815	638,873
退職給付引当金	147,851	142,344
その他	35,279	20,318
固定負債合計	1,012,946	801,536
負債合計	2,353,275	2,055,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	524,680	524,680
資本剰余金	508,300	508,300
利益剰余金	943,186	875,975
自己株式	△385	△385
株主資本合計	1,975,780	1,908,569
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△16,077	△17,926
評価・換算差額等合計	△16,077	△17,926
純資産合計	1,959,702	1,890,643
負債純資産合計	4,312,978	3,946,599

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	3,732,664	3,977,741
売上原価	2,647,334	2,873,819
売上総利益	1,085,330	1,103,922
販売費及び一般管理費	938,541	905,322
営業利益	146,788	198,599
営業外収益		
受取賃貸料	10,523	12,659
その他	14,632	18,761
営業外収益合計	25,155	31,421
営業外費用		
支払利息	12,543	10,098
投資有価証券運用損	11,180	5,869
その他	1,782	2,776
営業外費用合計	25,506	18,743
経常利益	146,437	211,276
特別利益		
賞与引当金戻入額	5,765	1,390
その他	36	—
特別利益合計	5,802	1,390
特別損失		
固定資産除却損	—	797
投資有価証券評価損	77,486	5,273
その他	1,313	—
特別損失合計	78,799	6,071
税金等調整前四半期純利益	73,440	206,596
法人税、住民税及び事業税	66,972	117,737
法人税等調整額	△6,087	△10,087
法人税等合計	60,884	107,649
四半期純利益	12,555	98,946

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,440	206,596
減価償却費	20,013	20,079
のれん償却額	3,573	5,692
貸倒引当金の増減額(△は減少)	538	△23
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,660	1,140
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,542	5,507
受取利息及び受取配当金	△736	△1,120
支払利息	12,543	10,098
投資有価証券運用損益(△は益)	11,180	5,869
投資有価証券評価損益(△は益)	77,486	5,273
有形固定資産除却損	1,313	797
売上債権の増減額(△は増加)	16,586	6,076
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,031	306
前払費用の増減額(△は増加)	28,983	14,939
未収入金の増減額(△は増加)	34,096	△10,623
未払金の増減額(△は減少)	△25,962	△7,474
未払費用の増減額(△は減少)	△6,835	△1,935
預り金の増減額(△は減少)	△674	△1,469
その他	12,798	18,640
小計	257,258	278,369
利息及び配当金の受取額	1,287	1,117
利息の支払額	△12,242	△9,945
法人税等の支払額	△20,291	△33,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,012	236,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	50,000
投資有価証券の取得による支出	△1,803	△1,809
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,950	2,332
有形固定資産の取得による支出	△3,388	△20,157
有形固定資産の売却による収入	—	4,512
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△280,847
敷金の差入による支出	△738	△1,184
その他	△6,021	1,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,000	△245,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	—
長期借入れによる収入	250,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△273,280	△120,201
配当金の支払額	△31,604	△31,669
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,884	148,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	112,126	139,171
現金及び現金同等物の期首残高	912,229	920,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,024,355	1,059,766

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)において、警備業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 販売の状況

(単位：千円)

職 種	期 別	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		前連結会計年度 (自平成20年10月1日 至平成21年9月30日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
警備料収入	交通警備	2,268,406	60.8	2,439,977	61.3	4,249,906	59.0
	施設警備	1,046,294	28.0	1,036,375	26.1	2,040,343	28.3
	列車見張り警備	327,837	8.8	391,846	9.9	658,854	9.1
小 計		3,642,537	97.6	3,868,200	97.2	6,949,104	96.4
その他売上		90,126	2.4	109,540	2.8	258,105	3.6
合 計		3,732,664	100.0	3,977,741	100.0	7,207,209	100.0